

# がん疼痛緩和地域連携パス

## (内容)

- 「がん疼痛緩和地域連携パス」にご協力いただける先生へ
- 「がん疼痛緩和地域連携パス」を受ける患者さんへ
  - 地域連携パスに関する同意確認書
  - 連携診療計画書（医師用）
  - 病院でのフォロー項目
  - 連携診療計画書（患者用） 痛みの日記

## 「がん疼痛緩和地域連携パス」にご協力いただける先生へ

※本連携パスの疼痛治療は、日本医師会監修「がん緩和ケアガイドブック2008年度版」に準拠  
しております。

### 1. 対象患者について

がん疼痛緩和地域連携パスの対象患者さんは、原則として以下のすべてを満たす方と  
しています。

- 医療用麻薬<sup>注1)</sup> や非ステロイド性消炎鎮痛薬（NSAIDs）・アセトアミノフェン  
などの鎮痛薬の処方が必要
- 告知済み
- 初発、再発は問わない
- 抗がん治療（抗がん剤など）中の有無は問わない
- 直近の血液検査で明らかな異常所見なし（肝・腎障害など）

注1) 本パスでは医療用麻薬を、主に脳、脊髄に分布しているオピオイド受容体に結合することで鎮痛  
効果を発揮する薬剤と定義します。いわゆる医療用麻薬とも呼ばれ、モルヒネ、オキシコドン、フェンタ  
ニルなどがあります。

### 2. 診療していただく時期

- 退院後、できるだけ早い時期から
- 鎮痛薬の処方が必要な時期（抗がん治療の有無は問いません）を基本としています。

### 3. かかりつけ医の先生の初回診療日の確認（予約）

患者さんから「連携パス」導入の同意が得られれば、担当者から初回診療日の確認（予約）の電話をさせていただきます。予約が必要な場合は、予約日時をお知らせください。

### 4. かかりつけ医の先生の初回診療時と毎回診療時

初回診療時には、患者さんに以下のものを持参していただきます。

- 連携診療計画書（医師用）
- 診療情報提供書
- その他の資料一式

毎回、診療時には、投薬をお願いします。

- また、患者さんには、連携診療計画書（患者用）『痛みの日記』をお渡しし、自己チェック形式で気になることや日常の健康管理で気になることがあれば、かかりつけ医の先生に相談するようにお伝えてしておりますので、よろしくお

願います。

## 5. 成人病センター受診の前に

成人病センター定期受診前の診療時に、可能であれば、診療情報提供書を記載してい

ただき、患者さんにお渡してください。

## 6. バリエーションと対処法

バリエーション	対処法
痛みが増強したとき（レスキューが1日4回以上のとき）	<ul style="list-style-type: none"><li>● NSAIDs最大投与量まで増量 例1) ロキソプロフェン（60mg）3錠 分3 例2) アセトアミノフェン 4000mg/日 分4まで</li><li>● オピオイドの定期処方 of 慎重な増量（<u>嘔気・眠気が生じない範囲で</u>） 例1) レスキュー分の上乗せ 例2) 現在量の1.3~1.5倍量</li><li>● 同時にレスキュー薬の1回量も定期処方（1日量）の1/6になるように増量</li><li>● コンサルテーション（オピオイドの変更・補助薬の追加）</li></ul>

嘔気が出現したとき	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 制吐剤の処方（追加・変更） あるいは</li> <li>● オピオイド以外の原因の治療</li> <li>● オピオイドの減量</li> <li>● オピオイドの変更</li> <li>● コンサルテーション</li> </ul>
便秘が出現したとき	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 緩下剤の処方（追加・変更） あるいは</li> <li>● コンサルテーション</li> </ul>
眠気が出現したとき	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オピオイド以外の原因の治療</li> <li>● オピオイドの減量</li> <li>● オピオイドの変更</li> <li>● コンサルテーション</li> </ul>
せん妄が出現したとき	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オピオイド以外の原因の治療</li> <li>● オピオイドの減量</li> <li>● オピオイドの変更</li> <li>● コンサルテーション</li> </ul>
焦燥感が出現したとき	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コンサルテーション（オピオイドの減量・変更、あるいは制吐剤の中止・変更）</li> </ul>

※コンサルテーション：翌日以降の早めに成人病センターを受診（緊急時は電話連絡）

## 7. その他

- 投薬については、基本的にかかりつけ医の先生でお願いします。
- 投薬間隔は1～2週間毎（かかりつけ医の先生のご判断）でお願いします。
- 定期受診日以外でも必要があれば成人病センターの受診を患者さんに案内してください。
- 特に、痛みが増強している場合や副作用（嘔気・便秘・眠気・せん妄・焦燥感）が出現し対処困難な場合は、できるだけ早めに成人病センターへの受診をお願いします（緊急時は電話連絡）。

## 8. お問い合わせ先

大阪府立成人病センター 心療・緩和科 電話 06-6972-1181（代表）

## 「がん疼痛緩和地域連携パス」を受ける患者さんへ

「連携パス」とは、地域のかかりつけ医と大阪府立成人病センターの医師が、あなたの治療経過を共有できる「治療計画表」のことです。「連携パス」を活用し、かかりつけ医と成人病センターの医師が協力して、あなたの治療を行います。

病状が落ち着いているときの投薬や日常の診療はかかりつけ医が行い、専門的な治療や定期的な検査は成人病センターが行いますので、ちょっとしたケガや日常の相談は、まずかかりつけ医にご相談ください。必要に応じて成人病センターを受診していただきます。また、休日や夜間等かかりつけ医を受診できない場合は、成人病センターまでご連絡ください。

この「連携パス」を活用することで、成人病センターと地域のかかりつけ医とが協力し、患者さんの視点に立った安心で質の高い医療を提供する体制を構築することを目指しています。また、患者さんにとっても、長い待ち時間や通院時間の短縮などの負担軽減や、ご自身の治療計画や経過の把握、かかりつけ医の手厚い診療による不安の解消といったメリットにもつながります。

【かかりつけ医の役割】

- ◇ 病気の予防・日常の健康管理を行います。（生活習慣病などの管理は、身近なかかりつけ医が必要です）
- ◇ 専門的治療（病院への受診）の必要性を判断します。
- ◇ 風邪など一般的な病気のことやちょっとした心配ごとなどが気軽に相談できます。

#### 【成人病センター医師の役割】

- ◇ 定期的な診療を行います。（かかりつけ医と情報交換しながら、1-2か月に1回の診察）
- ◇ 専門的な検査・診察を行います。
- ◇ 緊急を要する場合、必要な対応を行います。

大阪府立成人病センター 心療・緩和科 電話 06-6972-1181（代表）



## 地域連携クリニカルパスに関する同意確認書

～がん疼痛緩和地域連携クリニカルパス～

大阪府立成人病センター総長殿

私は、

1. 地域連携クリニカルパスの説明を受け、
2. 連携医手配の後にパス書類一式を受け取り、
3. 地域連携クリニカルパスに準じた連携医（かかりつけ医）との連携診療に同意します。

平成 年 月 日

氏名： \_\_\_\_\_

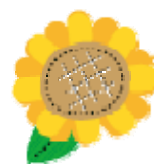
## 病院でのフォロー項目（病院受診時、必要に応じて実施する）

1. 医療用麻薬によると考えられる副作用（嘔気・便秘・眠気・せん妄など）が増強している場合は、適宜、血液検査で、貧血、肝・腎機能障害、電解質異常（血清カルシウム値も含む）、炎症所見の有無を確認する。
2. 新しい痛みが出現した場合は、治療科と相談の上、適宜、画像診断を行う。

# がん疼痛緩和 地域連携パス ～飲み薬～



大阪府立成人病センター



大阪府がん診療連携協議会

# はじめに

- 「地域連携パス」とは、地域のかかりつけ医と大阪府立成人病センターの医師が、あなたの治療経過を共有できる「治療計画表」のことです。「地域連携パス」を活用し、かかりつけ医と成人病センターの医師が協力して、あなたの治療を行います。

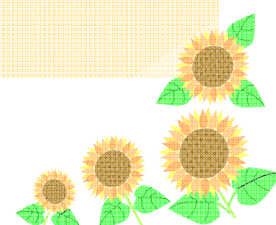
【かかりつけ医があなたのもうひとりの主治医です】

- 病状が落ち着いているときの投薬や日常の診療はかかりつけ医が行い、専門的な治療や定期的な検査は成人病センターが行いますので、日常の相談は、まずかかりつけ医にご相談ください。必要に応じて成人病センターを受診していただきます。また、**緊急を要する場合は休日や夜間等かかりつけ医を受診できない場合は、成人病センター（06-6972-1181 代表）までご連絡ください。**
- この「地域連携パス」を活用することで、成人病センターと地域のかかりつけ医が協力し、患者さんの視点に立った安心で質の高い医療を提供する体制を構築することを目指しています。また、患者さんにとっても長い待ち時間や通院時間の短縮などの負担軽減や、ご自身の治療計画や経過の把握、かかりつけ医の手厚い診療による不安の解消といったメリットにもつながります。



# もくじ

- 痛みを上手に伝えましょう：3頁
- 痛みの治療の目標：5頁
- 痛みの治療の5つの基本：6頁
- 医療用麻薬の使い方：7頁
- 副作用について：8頁
- 注意点：9頁
- 医療用麻薬の変更・減量・中止について：10頁
- メモ：11～12頁
- 成人病センターの各部署・担当等のご案内：13～14頁



# 痛みを上手に伝えましょう

- 痛みは目に見えませんが、あなたにしか分かりません。あなたが体験されている痛みを伝えて上手に痛みの治療を受けましょう。
- あなたが痛みの程度や経過を伝えてくださることでよりよい痛みの治療が出来ます。
- 以下は、痛みを上手に伝えるためのポイントです。

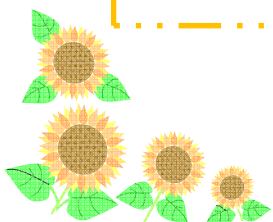
✓ 体のどこが痛みますか？

✓ どのような痛みですか？  
(ずきずき、じんじん、きりきりなど)

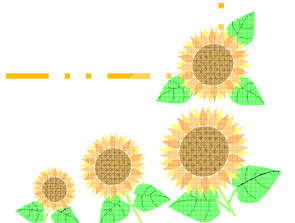
✓ 痛みの強さはどのくらいですか？

「0：痛みがない」、「10：最悪な痛み」として、0～10までの11段階に区切ったとき、もっとも近い数字を選んでください。(表情から選んでもらっても結構です。)

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10



- ✓ 体を動かしたときの痛みの強さはどのくらいですか？（0～10で）
- ✓ 安静にしているときの痛みの強さはどのくらいですか？（0～10で）
- ✓ 1日のうちで痛みが強くなる時間がありますか？それは何時頃ですか？
- ✓ 頓用薬（レスキュー）の使用回数は？時刻は？



# 痛みの治療の目標

- 第一の目標

痛みで眠りを邪魔されない



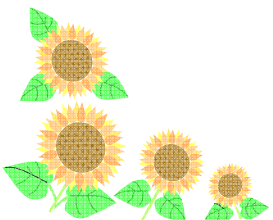
- 第二の目標

安静にしていけば痛まない



- 第三の目標

体を動かしても痛みが強くなる  
らない



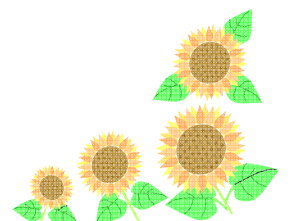


# 痛みの治療の5つの基本

- ① まずは、経口的に
- ② 時刻を決めて規則正しく
- ③ 除痛ラダーにそって効力の順に
- ④ 患者ごとの個別的な量で
- ⑤ その上で細かい配慮を



(世界保健機関WHO)



# 医療用麻薬の使い方

## ■時間を決めて飲むおくすり

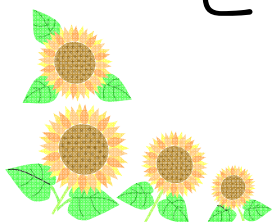
✓ ( ) 錠1回\_\_\_mg  
1日2回 (飲む時間: / )

✓ 食事とは関係なく決められた時間に必ずお飲みください。

## ■突然痛みを感じたときに飲むおくすり

✓ ( ) 1回\_\_\_mgをすぐに1回分を飲んでください。

★飲んでから1時間以上たっても痛みが軽くない場合は、我慢せずにもう1回分飲んでください。



# 副作用について

医療用麻薬を飲んでいると、次のような症状が起こることがあります。

## ～便秘～

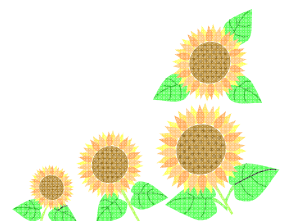
おなかの動きを悪くする作用があるため、便秘になります。整腸剤や下剤をうまく組み合わせて、調整します。

## ～吐き気～

飲み始めの1週間くらいは吐き気が起こることがあります。予防薬を使うことで、吐き気を経験せずに済ますことができます。

## ～眠気～

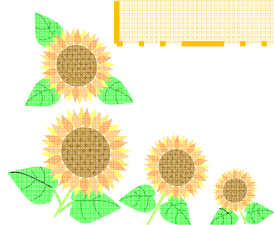
飲み始めや薬の量が増えたとき眠気が起こることがあります。体が慣れると、眠気はなくなります。



## 注意点

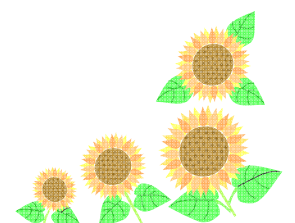
- 医師が処方する医療用麻薬は効果と安全性が確立していますが、**法律**によって扱いが制限されています。

- ◆ 処方された患者さん以外が服用してはいけません。
- ◆ 保管場所に注意してください。  
（お子様の手の届かないところに保管してください。）
- ◆ 余った医療用麻薬は処方してもらった病院または薬局に返却してください。（ご自分で捨てたり、他人に譲ったりしてはいけません。）

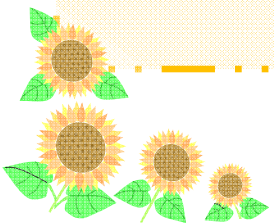


## 医療用麻薬の変更・減量・中止について

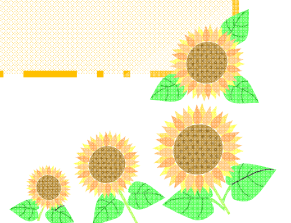
- 服用されている医療用麻薬の効果が不十分であったり、副作用があり服用が難しくなった場合は、違う種類の医療用麻薬に変更したり、減量・中止することがあります。
- 服用をいきなり中止すると、だるさ、吐き気、発汗、頻脈、不安などの症状が現れることがあります（**退薬症候**）。
- 医療用麻薬の減量・中止は医療機関で検討します。



～メモ～



～メモ～



## 成人病センターの各部署・担当等のご案内

### ● がん相談支援センター

がん相談支援センターでは、専任の看護師、医療ソーシャルワーカーが患者さんやご家族のほか、地域の方々ががんの治療について知りたい、今後の治療や療養生活のことが心配など、がんの治療にかかわる質問や相談、医療福祉に関する相談等をお受けしております。

相談は、直接、面談にてお話をうかがう方法と、電話にてお話をうかがう方法があり、必要に応じて院内の医師、薬剤師、栄養士、などと連携をとり相談支援にあたっております。

なお、相談は無料となっており、秘密は厳守しますので安心してご相談ください。

**窓口開設時間：午前9:00～午後5:00**

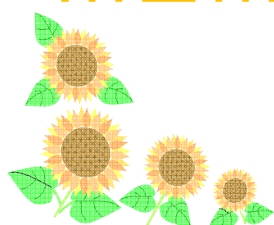
**（月曜から金曜日まで、休日、年末年始を除く）**

**電話番号：06-6972-1181（内 3148）**

**：06-6972-1123（直通）**

### ● 地域医療連携室

地域医療連携室では、地域医療機関との医療連携を進め、患者さんに安心して受診していただくため、地域医療機関の先生方と当院の医師とのスムーズな連絡・連携の窓口としての役割を果たしています。





## ● 看護外来

がんの告知後や手術前後の心理的な不安を抱える患者さん・家族に対し、専門看護師や認定看護師等が医師と連携して予約制で相談にあたっています。また、化学療法に関する相談、リンパ浮腫を予防するためのリンパドレナージ外来等も行っています。

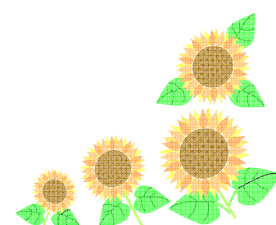
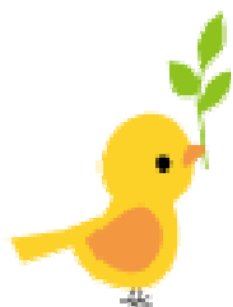
## ● 緩和ケア外来

痛みや息苦しさ、倦怠感などの身体的症状や不安などの精神的症状が緩和できるよう、外来通院中の患者さんに対して「心療・緩和科」を設けています。

## ● 再診予約変更センター

再診予約変更センターでは、予約日の3日前までの午前9時から午後4時までの間に予約の取り消しや変更を電話で承ります。なお、検査によっては予約の変更はできませんので、その場合は、直接来院のうえ、ご変更ください。

電話番号：06-6972-6117 (再診予約変更専用)





大阪府立成人病センター

TEL 06-6972-1181 (代表)

あなたのお名前

\_\_\_\_\_ さん

かかりつけ医

\_\_\_\_\_ (電話 — — )

\_\_\_\_\_ 病院 \_\_\_\_\_ 科

電話 — — (代表)

平成25年4月

## 大阪府がん疼痛緩和地域連携パス 医師用

### 患者情報

ID番号:

患者氏名:

年齢: 歳 性別: 男・女

生年月日: 昭・平 年 月 日

退院日: 昭・平 年 月 日

紹介元病院:

医師名:

連絡先:

かかりつけ医・医療機関:

医師名:

連絡先:

### 疾患情報

病名:

転移部位: 脳・肺・肝・腹膜・骨・  
リンパ節( )  
その他( )

治療内容:

手術( )  
抗がん剤( )  
放射線治療 有・無

PS: 0・1・2・3・4

予後予測: 半年以上・月単位・週単位

**投薬情報:処方薬剤には、( )内にチェックして下さい。**

◎非オピオイド鎮痛薬

( ) NSAIDs ( )

( ) アセトアミノフェン ( )mg 分( )

+

●頓用薬(レスキュー) ( )

◎オピオイド

( ) オキシコンチン® ( )mg 分2 12時間毎

( ) モルヒネ徐放薬 ( ) ( )mg 分( )

( ) その他 ( )

+

●頓用薬(レスキュー) 1日( )回まで可・制限なし

( ) オキノーム® ( )mg/回 1時間あけて反復

( ) オプソ® ( )mg/回 1時間あけて反復

( ) アンペック坐薬® ( )mg/回 1時間あけて反復

( ) その他 ( )

◎副作用対策薬

制吐薬

( ) ノバミン® (5mg) 2~3錠 分2~3

( ) ナウゼリン® (10mg) 3~6錠 食前

( ) トラベルミン® 3錠 分3

( ) その他 ( )

+

下剤

( ) 酸化マグネシウム 1.5g 分3

( ) プルゼニド® (12mg) 1~4錠 寝る前

( ) その他 ( )

+

胃潰瘍予防薬 ( )

◎睡眠薬の有無 有( )・無

◎その他の鎮痛補助薬

( )

( )

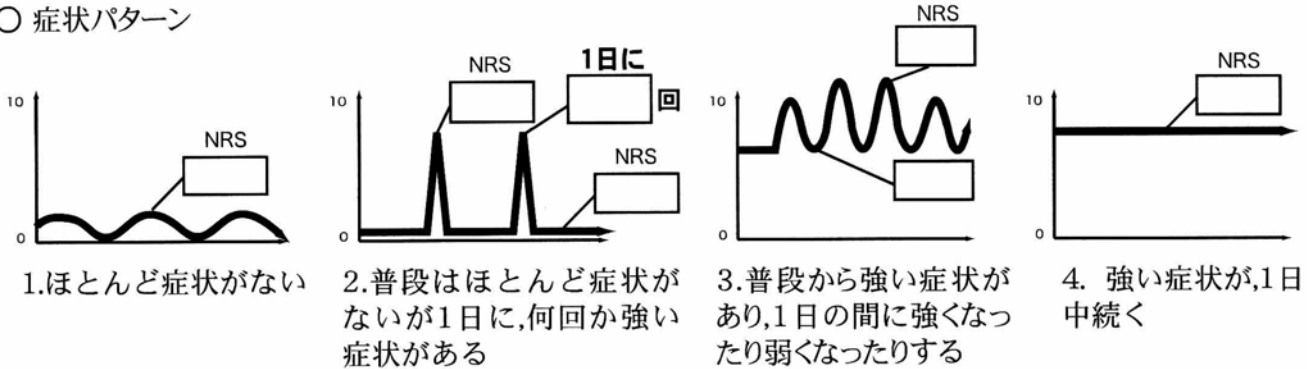
# 疼痛の評価シート

月 日

## ○ STAS-J

- 0: 症状なし    1: 現在の治療に満足している    2: 時に悪い日もあり日常生活に支障をきたす    3: しばしばひどい症状があり日常生活に著しく支障をきたす    4: ひどい症状が持続的にある

## ○ 症状パターン



## ○ 生活への影響

疼痛が原因で

- 睡眠
- よく眠れる
  - 時々起きるがだいたい眠れる
  - 眠れない

## ○ 部位

- ( )
- 以前からの部位
  - 新しい部位

## ○ 性状

- びりびり電気が走る、しびれる、じんじんとする
- ズキッとする
- ズーンと重い
- その他の表現( )

## ○ 増悪因子

- 定期薬内服前
- 夜間
- 体動
- 食事(前・後)
- 排尿・排便
- その他 ( )

## ○ 軽快因子

- 安静
- 保温/温罨
- 冷却
- マッサージ
- その他 ( )

## ○ 総合評価

## ○ 治療の反応

### ● 定期薬剤

- なし
- あり — オピオイド( )
- NSAIDs ( )

### ○ 副作用

- ・眠気
- なし
  - あり(快)
  - あり(不快)
- ・見当識障害
- なし
  - あり
- ・便秘
- なし
  - あり
- ・嘔気
- なし
  - あり(経口摂取可能)
  - あり(経口摂取不可能)

### ● 頓用薬(レスキュー)使用

- なし
- あり — オピオイド( )

#### ○ 効果 ( )回/日

- 完全によくなった ◎
- だいたいよくなった ○
- 少しよくなった △
- かわらない ×

#### ○ 副作用

- ・眠気
- なし
  - あり(快)
  - あり(不快)
- ・嘔気
- なし
  - あり(経口摂取可能)
  - あり(経口摂取不可能)

- NSAIDs ( )

#### ○ 効果 ( )回/日

- 完全によくなった ◎
- だいたいよくなった ○
- 少しよくなった △
- かわらない ×

**投薬情報:処方薬剤には、( )内にチェックして下さい。**

◎非オピオイド鎮痛薬

( ) NSAIDs ( )

( ) アセトアミノフェン ( )mg 分( )

+

●頓用薬(レスキュー) ( )

◎オピオイド

( ) オキシコンチン® ( )mg 分2 12時間毎

( ) モルヒネ徐放薬 ( ) ( )mg 分( )

( ) その他 ( )

+

●頓用薬(レスキュー) 1日( )回まで可・制限なし

( ) オキノーム® ( )mg/回 1時間あけて反復

( ) オプソ® ( )mg/回 1時間あけて反復

( ) アンペック坐薬® ( )mg/回 1時間あけて反復

( ) その他 ( )

◎副作用対策薬

制吐薬

( ) ノバミン® (5mg) 2~3錠 分2~3

( ) ナウゼリン® (10mg) 3~6錠 食前

( ) トラベルミン® 3錠 分3

( ) その他 ( )

+

下剤

( ) 酸化マグネシウム 1.5g 分3

( ) プルゼニド® (12mg) 1~4錠 寝る前

( ) その他 ( )

+

胃潰瘍予防薬 ( )

◎睡眠薬の有無 有( )・無

◎その他の鎮痛補助薬

( )

( )

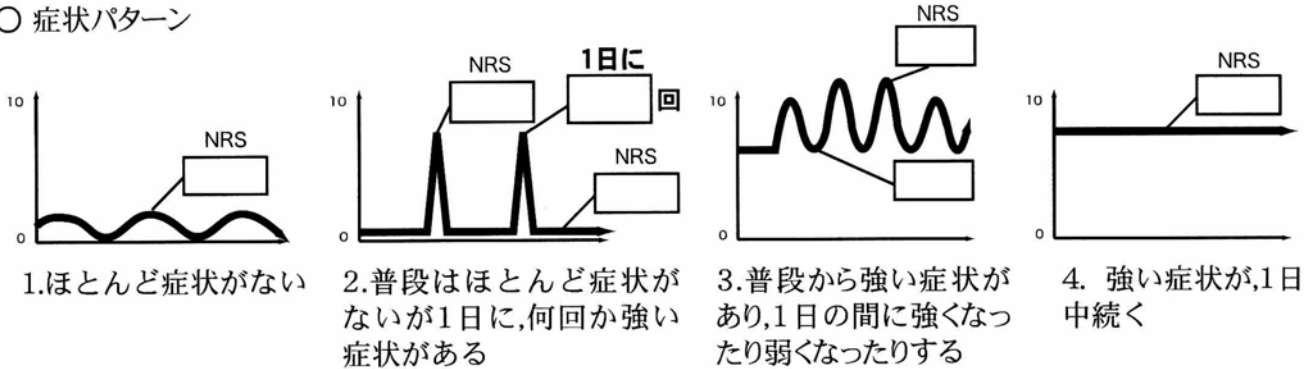
# 疼痛の評価シート

月 日

## ○ STAS-J

- 0: 症状なし    1: 現在の治療に満足している    2: 時に悪い日もあり日常生活に支障をきたす    3: しばしばひどい症状があり日常生活に著しく支障をきたす    4: ひどい症状が持続的にある

## ○ 症状パターン



## ○ 生活への影響

疼痛が原因で

- 睡眠
- よく眠れる
  - 時々起きるがだいたい眠れる
  - 眠れない

## ○ 部位

- ( )
- 以前からの部位
  - 新しい部位

## ○ 性状

- びりびり電気が走る、しびれる、じんじんとする
- ズキッとする
- ズーンと重い
- その他の表現( )

## ○ 増悪因子

- 定期薬内服前
- 夜間
- 体動
- 食事(前・後)
- 排尿・排便
- その他 ( )

## ○ 軽快因子

- 安静
- 保温/温罨
- 冷却
- マッサージ
- その他 ( )

## ○ 総合評価

## ○ 治療の反応

### ● 定期薬剤

- なし
- あり — 2. オピオイド( )
- NSAIDs ( )

### ○ 副作用

- ・眠気
- なし
  - あり(快)
  - あり(不快)
- ・見当識障害
- なし
  - あり
- ・便秘
- なし
  - あり
- ・嘔気
- なし
  - あり(経口摂取可能)
  - あり(経口摂取不可能)

### ● 頓用薬(レスキュー)使用

- なし
- あり — 2. オピオイド( )

○ 効果 ( )回/日

- 完全によくなった ◎
- だいたいよくなった ○
- 少しよくなった △
- かわらない ×

### ○ 副作用

- ・眠気
- なし
  - あり(快)
  - あり(不快)
- ・嘔気
- なし
  - あり(経口摂取可能)
  - あり(経口摂取不可能)

- NSAIDs ( )

○ 効果 ( )回/日

- 完全によくなった ◎
- だいたいよくなった ○
- 少しよくなった △
- かわらない ×

**投薬情報:処方薬剤には、( )内にチェックして下さい。**

◎非オピオイド鎮痛薬

( ) NSAIDs ( )

( ) アセトアミノフェン ( )mg 分( )

+

●頓用薬(レスキュー) ( )

◎オピオイド

( ) オキシコンチン® ( )mg 分2 12時間毎

( ) モルヒネ徐放薬 ( ) ( )mg 分( )

( ) その他 ( )

+

●頓用薬(レスキュー) 1日( )回まで可・制限なし

( ) オキノーム® ( )mg/回 1時間あけて反復

( ) オプソ® ( )mg/回 1時間あけて反復

( ) アンペック坐薬® ( )mg/回 1時間あけて反復

( ) その他 ( )

◎副作用対策薬

制吐薬

( ) ノバミン® (5mg) 2~3錠 分2~3

( ) ナウゼリン® (10mg) 3~6錠 食前

( ) トラベルミン® 3錠 分3

( ) その他 ( )

+

下剤

( ) 酸化マグネシウム 1.5g 分3

( ) プルゼニド® (12mg) 1~4錠 寝る前

( ) その他 ( )

+

胃潰瘍予防薬 ( )

◎睡眠薬の有無 有( )・無

◎その他の鎮痛補助薬

( )

( )



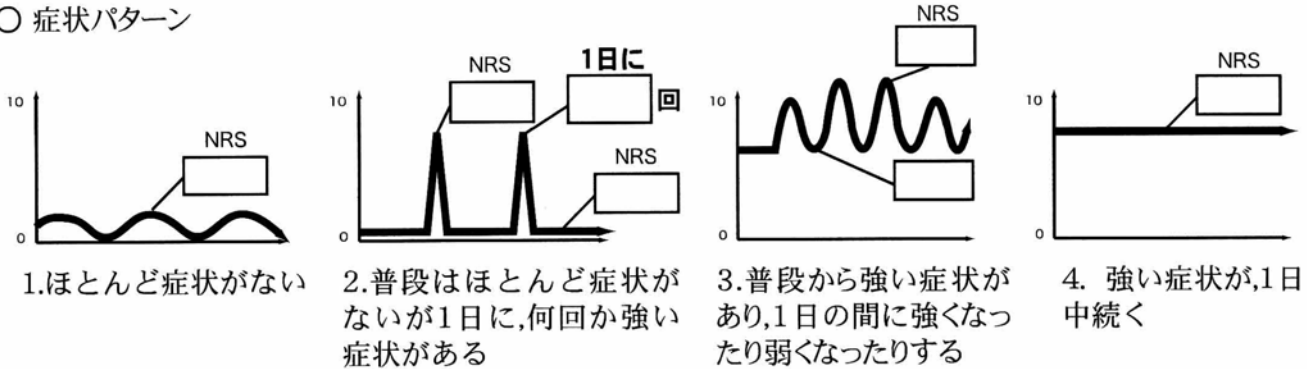
# 疼痛の評価シート

月 日

## ○ STAS-J

- 0: 症状なし    1: 現在の治療に満足している    2: 時に悪い日もあり日常生活に支障をきたす    3: しばしばひどい症状があり日常生活に著しく支障をきたす    4: ひどい症状が持続的にある

## ○ 症状パターン



## ○ 生活への影響

疼痛が原因で

- 睡眠
- よく眠れる
  - 時々起きるがだいたい眠れる
  - 眠れない

## ○ 部位

- ( )
- 以前からの部位
  - 新しい部位

## ○ 性状

- びりびり電気が走る、しびれる、じんじんする
- ズキッとする
- ズーンと重い
- その他の表現( )

## ○ 増悪因子

- 定期薬内服前
- 夜間
- 体動
- 食事(前・後)
- 排尿・排便
- その他 ( )

## ○ 軽快因子

- 安静
- 保温/温罨
- 冷却
- マッサージ
- その他 ( )

## ○ 総合評価

## ○ 治療の反応

### ● 定期薬剤

- なし
- あり — オピオイド( )
- NSAIDs ( )

### ○ 副作用

- ・眠気
- なし
  - あり(快)
  - あり(不快)
- ・見当識障害
- なし
  - あり
- ・便秘
- なし
  - あり
- ・嘔気
- なし
  - あり(経口摂取可能)
  - あり(経口摂取不可能)

### ● 頓用薬(レスキュー)使用

- なし
- あり — オピオイド( )

#### ○ 効果 ( )回/日

- 完全によくなった ◎
- だいたいよくなった ○
- 少しよくなった △
- かわらない ×

#### ○ 副作用

- ・眠気
- なし
  - あり(快)
  - あり(不快)
- ・嘔気
- なし
  - あり(経口摂取可能)
  - あり(経口摂取不可能)

- NSAIDs ( )

#### ○ 効果 ( )回/日

- 完全によくなった ◎
- だいたいよくなった ○
- 少しよくなった △
- かわらない ×

**投薬情報:処方薬剤には、( )内にチェックして下さい。**

◎非オピオイド鎮痛薬

( ) NSAIDs ( )

( ) アセトアミノフェン ( )mg 分( )

+

●頓用薬(レスキュー) ( )

◎オピオイド

( ) オキシコンチン® ( )mg 分2 12時間毎

( ) モルヒネ徐放薬 ( ) ( )mg 分( )

( ) その他 ( )

+

●頓用薬(レスキュー) 1日( )回まで可・制限なし

( ) オキノーム® ( )mg/回 1時間あけて反復

( ) オプソ® ( )mg/回 1時間あけて反復

( ) アンペック坐薬® ( )mg/回 1時間あけて反復

( ) その他 ( )

◎副作用対策薬

制吐薬

( ) ノバミン® (5mg) 2~3錠 分2~3

( ) ナウゼリン® (10mg) 3~6錠 食前

( ) トラベルミン® 3錠 分3

( ) その他 ( )

+

下剤

( ) 酸化マグネシウム 1.5g 分3

( ) プルゼニド® (12mg) 1~4錠 寝る前

( ) その他 ( )

+

胃潰瘍予防薬 ( )

◎睡眠薬の有無 有( )・無

◎その他の鎮痛補助薬

( )

( )

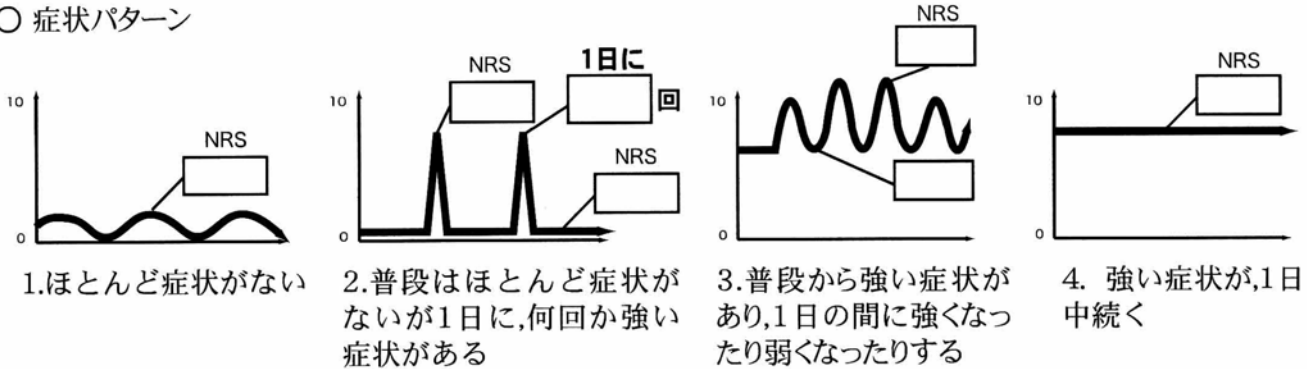
# 疼痛の評価シート

月 日

## ○ STAS-J

- 0: 症状なし    1: 現在の治療に満足している    2: 時に悪い日もあり日常生活に支障をきたす    3: しばしばひどい症状があり日常生活に著しく支障をきたす    4: ひどい症状が持続的にある

## ○ 症状パターン



## ○ 生活への影響

疼痛が原因で

- 睡眠
- よく眠れる
  - 時々起きるがだいたい眠れる
  - 眠れない

## ○ 部位

- ( )
- 以前からの部位
  - 新しい部位

## ○ 性状

- びりびり電気が走る、しびれる、じんじんする
- ズキッとする
- ズーンと重い
- その他の表現( )

## ○ 増悪因子

- 定期薬内服前
- 夜間
- 体動
- 食事(前・後)
- 排尿・排便
- その他 ( )

## ○ 軽快因子

- 安静
- 保温/温罨
- 冷却
- マッサージ
- その他 ( )

## ○ 総合評価

## ○ 治療の反応

### ● 定期薬剤

- なし
- あり — 2. オピオイド( )
- NSAIDs ( )

### ○ 副作用

- ・眠気
- なし
  - あり(快)
  - あり(不快)
- ・見当識障害
- なし
  - あり
- ・便秘
- なし
  - あり
- ・嘔気
- なし
  - あり(経口摂取可能)
  - あり(経口摂取不可能)

### ● 頓用薬(レスキュー)使用

- なし
- あり — 2. オピオイド( )

#### ○ 効果 ( )回/日

- 完全によくなった ◎
- だいたいよくなった ○
- 少しよくなった △
- かわらない ×

#### ○ 副作用

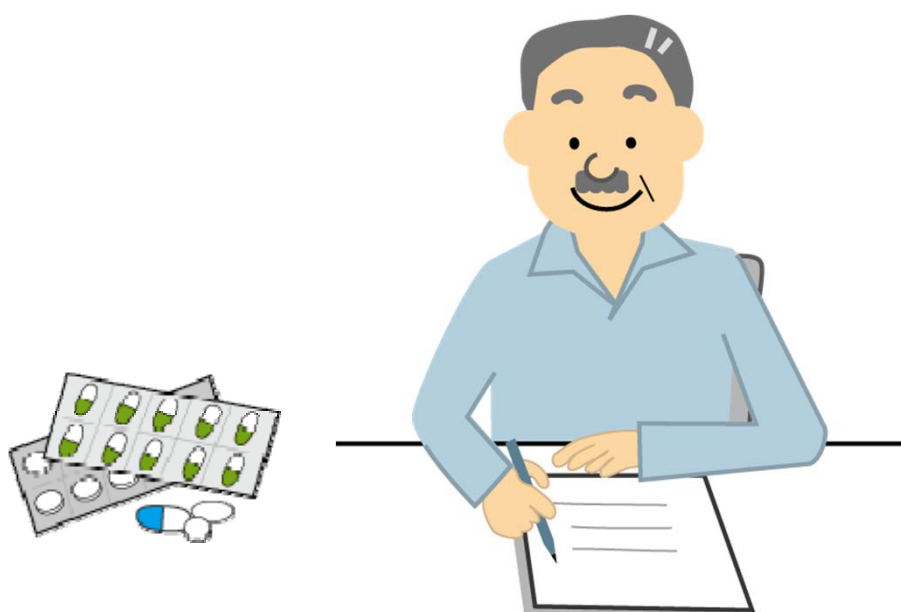
- ・眠気
- なし
  - あり(快)
  - あり(不快)
- ・嘔気
- なし
  - あり(経口摂取可能)
  - あり(経口摂取不可能)

- NSAIDs ( )

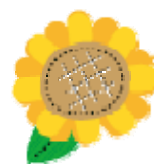
#### ○ 効果 ( )回/日

- 完全によくなった ◎
- だいたいよくなった ○
- 少しよくなった △
- かわらない ×

# 痛みの日記

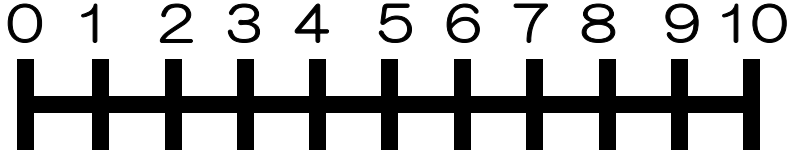


大阪府立成人病センター



大阪府がん診療連携協議会

# 痛みの強さ



痛みがない

中くらいの痛み

最悪な痛み

	眠気	吐き気	食欲不振	便秘	おなかの張り
0	なし	なし	なし	なし	なし
1	時折、眠気はあるがつかうはない	時折、吐き気はあるがつかうはない	時折、食欲不振はあるがつかうはない	時折、便秘はあるがつかうはない	時折、おなかの張りはあるがつかうはない
2	時に眠気がつかう、日常生活に支障をきたす	時に吐き気がつかう、日常生活に支障をきたす	時に食欲不振がつかう、日常生活に支障をきたす	時に便秘がつかう、日常生活に支障をきたす	時におなかの張りがつかう、日常生活に支障をきたす
3	たびたび強い眠気があり、日常生活に著しく支障をきたす	たびたび強い吐き気があり、日常生活に著しく支障をきたす	たびたび強い食欲不振があり、日常生活に著しく支障をきたす	たびたび強い便秘があり、日常生活に著しく支障をきたす	たびたび強いおなかの張りがあり、日常生活に著しく支障をきたす
4	持続的な耐えられない激しい眠気がある	持続的な耐えられない激しい吐き気がある	持続的な耐えられない激しい食欲不振がある	持続的な耐えられない激しい便秘がある	持続的な耐えられない激しいおなかの張りがある

日付 (月/日)		記入例
痛み	体動時	8
	安静時	3
頓用薬の回数	①( )	3
	②( )	
頓用薬を内服した時刻		10:00 13:40 19:20
日中の眠気		1
夜間の睡眠		良・不良
吐き気		2
1日の嘔吐回数		0
食欲不振		1
便秘		3
1日の排便回数		0
おなかの張り		2
下剤の回数		2
その他、ご自由に記入してください		この3日間、便がでない。

/	/	/	/	/	/	/
良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良

/	/	/	/	/	/	/
良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良







/	/	/	/	/	/	/
良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良	良・不良



大阪府立成人病センター

TEL 06-6972-1181 (代表)

あなたのお名前

\_\_\_\_\_ さん

かかりつけ医

\_\_\_\_\_ (電話 — — )

\_\_\_\_\_ 病院 科

電話 — — (代表)

平成25年4月